

大会名：第15回 NACカップ U-12  
日程：平成27年7月4日（土）～5日（日）  
会場：小野町町営多目的グラウンド  
参加：T6・Gクラス選抜 11名  
帯同：設楽コーチ  
対戦相手：

予選リーグ

VS 緑ヶ丘SSS 0：11 ●

VS 富田東SSS 1：2 ●

リーグ3位トーナメント

VS 行健SSS 4：2 ○

VS 守山SSS 6：0 ○

結果：9位（12チーム中）

毎年、この大会には小野SSSさんからお誘いをいただき、当クラブの恒例行事となっておりますが、4年生以下のU-10の部と6年生以下のU-12の部に参加させていただきました。

今回の日程は、6年生以下の大会が福島の「Me&You大会」と重複し、やむを得ずT6クラスを2グループに分けて例年にない状況での参加となりました。

T6クラスの2グループ分類は、特練に参加している選手としていない選手に分かれ、NACカップへは参加していない男子6年生+T6クラス5年生+Gクラスの混成チームになりました。

練習も一緒にやっていないメンバーが集まり、いきなり大会に出場し試合をすることは不安でしたが、アーレの選手たちは今までもこのような状況でも、いざ大会が始まるとしっかりとチームワークを短い時間で育み頑張ってくれます。

日々の練習でも順応性がある子どもたちなので、今回も期待しておりました。

さて、初日ですが強豪2チームとの戦いで厳しいとは思っておりましたが、全敗するとはとても残念な悔しい結果となりました。

初戦の緑ヶ丘SSSさんは、県南チャンピオンということもあり、県トレセン選手もおり、アーレとベストメンバーで戦いたい、二連覇を狙いたいなどと意気込みを持ち、当日のトレセンの練習を休んでまでも調整してこの大会に挑んで来られたチームでした。

6年生女子と5年生が人数的に主体となっていたメンバー構成もあり、何もできずに一方的な攻撃を防ぐだけの試合となってしまいました。私も悔しかったです。

二試合目の富田東SSSさんはレギュラー組みがバーモントカップへ出場しており、4年生主体のチームでしたが、油断した時間に失点を重ね敗戦してしまいました。初戦での大量失点を受け、戦意喪失していた選手たちは二試合目も切り替えることができなく、

いつものような元気の有るプレーが全く見られず受け身となってしまいました。

初日の二試合は自分たちの個性や技術を全く出せずに終わり、不完全燃焼のような選手達でしたが、明日の試合に向けて話し合いました。気持ちを切り替えることです。

しかし、うちの選手たちは、いつまでも試合のことは気にしない明るい性格の子どもたちなので、次の日も気にする選手はいないだろうと思っていましたが、次の日は思ったとおりに明るく元気な顔を見せてくれました。

二日目の3位トーナメントでは、のびのびと自分の技術を個々に出してくれました。随所に活躍をしてきて、個々が自信に繋がる試合をしてくれました。

今回の大会（試合）が始まる前に選手たちには、このようなコーチングをして挑みました。

○混成チームなのでそれぞれが助け合って、男女関係なく、声を掛け合い、励まし合ってプレーすること。

○少ない6年生男子選手であるが、6年生女子や5年生男子を引っ張っていくこと。

○みんなが試合に出場するので、自分が出た時には自分のできる技術を発揮すること。

私たちは、いつも大会では精神的なことを中心に伝えます。

サッカーは好きではありますが、戦う気持ちが無いと試合にはなりません。上手くても下手でも「戦う気持ち」を出してプレーができるか、できないかが大きなポイントです。気持ちが入っているプレーは下手でも仲間の心を動かし、見ている人たちの心も動かす。そして、チームの結果に繋がる素晴らしいプレーです。

しかし、精神論だけでは試合（戦術）はできませんので、チームとしてのルールだけは伝えます。

○自分たちのコートでは中央へボールを運ばないこと。（サイドを使う。）

○相手コートではゴールへ向かうこと。（サイドへ運ばずシュートで終わる。）

○ボールを奪われたら諦めないで、取り返しに行くこと。

誰が聞いても簡単なコーチングですよね。チームとしての練習をしていないので、技術にも個人差があるので、みんなが統一したルールをしっかりと理解してくれます。

コーチが細かい戦術を決めて、システムチックにプレーしてくるチームも多々ありますがチームを作っているわけではないので疑問です。選手達は戦術のかたちに拘り、「や

らされサッカー」となってしまいます。

自分の自由な発想で、仲間との強調性を考え、助け合いながらプレーすることは、自分自信で、とても頭を使うことになります。

自分に責任を持ちながら個々にチャレンジすることで、将来に繋がる順応性あるプレーヤーになります。

このアーレスタイルは、卒団生たちが確信させてくれています。中学校、高校へ行ってもサッカーをのびのびと自信を持ってプレーし、多くのOB、OGたちがレギュラーを獲得して活躍してくれているからです。

しかし、試合が始まってから黙って見ているわけにはいきません。その時、その時に気づき、考えるようにコーチングすることが大事です。今の状況をしっかりと感じるアドバイスは、選手たちにとって忘れずに吸収してくれるタイミングだと思います。

チームとしての勝敗は後からついてきます。負けることも勝つこともあります。しかし、大会に参加するからには勝敗に拘りたいながらも、選手達にはのびのびと試合を楽しんで欲しいと思っています。今回もそんな試合になったでしょう。

最後に、小野SSSさん、大会関係者の皆様、今年も素晴らしい機会をいただき、ありがとうございました。対戦させていただいた他チームの方々も素晴らしいプレーで戦ってくれたことに感謝いたします。そして、ご父兄の皆様も二日間、応援ありがとうございました。

コーチ：設楽



